

東落合小学校「タブレット使用のルール」について

学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていくために、タブレットを上手に活用していくことが大切です。タブレットはみなさんの学習に役立てるための道具です。便利な道具ですが、心配されることもたくさんあります。

そのため、東落合小学校は「タブレット使用のルール」を定めました。

全校児童でこのルールを守り、タブレットを「安心・安全・快適」に活用していきましょう。

1 目的

- 学校で貸し出すタブレットは、学習活動のために使うことが目的です。学習活動に関わること以外に使ってはけません。

2 使用の制限

- 東落合小学校「タブレット使用のルール」が守れないときは、タブレットを使うことができません。

3 使用する場面

- 学校と家庭以外では使用しません。登下校中はタブレットをランドセルから出しません。先生の指示があった時だけほかの場所で使うことができます。
- タブレットを使うときは、先生やおうちの方の指示をよく聞きます。
- 学校では保管庫から自分のタブレットを出すこととしまうことは、先生が指示したタイミングで行います。家庭ではおうちの方にお話をしてから使います。
- 休み時間や放課後でも、先生が認めたこと以外に使いません。

4 禁止事項

- なくしたり、盗まれたり、落としてこわしたり、水にぬらしたりしないように十分気をつけます。
- 持ったまま走ったり、地面に置いたりしてはいけません。
- カバンの下に置いたり、カバンの底に入れたりしてはいけません。
- 水などの液体をかけたり、湿気の多いところでは使ったりしてはいけません。また、日光の直接あたる場所や暖房器具の近くなどには置いてはいけません。
- 操作は指で行います。鉛筆やペンでふれたり、落書きしたり、磁石をひっつけたりすることは絶対にしてはいけません。

5 保管

- 学校での保管は各教室の充電保管庫に入れます。家庭では、おうちの方の目の届くところに置いておきます。その時には充電ケーブルを差します。
- 充電ケーブルを自分で差すことが難しい場合は、先生やおうちの方に相談します。
- 充電ケーブルをタブレットから抜くときには、ケーブルの先をしっかりと持って引き抜きます。

6 健康のために

- ・タブレットを使用するときは、正しい姿勢で、画面から30cm以上離すなど近づきすぎないように気をつけます。
- ・20分ごとに20秒以上遠く(6m以上はなれたところ)の景色を見るなど、ときどき目を休ませます。
- ・寝る1時間前からは使いません。
- ・使用する時間はおうちの方とよく話し合い、長時間使用せず細かく休けいしながら使います。

7 安全な使用

- ・インターネットには制限がかけられていますが、もしもあやしいサイトに入ってしまったときはすぐに画面を閉じ、先生やおうちの方に知らせます。
- ・先生の許可なく、友達タブレットと通信(AirDrop、ロイロノートなど)はしてはいけません。通信の記録や通信した内容はすべて残ります。

8 個人情報等

- ・自分のタブレットを他人に貸したり、使わせたりしません。
- ・先生の許可なく自分のアカウントを他人に教えてはいけません。また、パスワードはどんな時も他人に教えてはいけません。情報は各家庭で保管してください。
- ・自分や他人の個人情報(名前や住所、電話番号、写真など)はインターネット上に絶対に上げません。また、授業の様子や友達のノートなども同様です。一度インターネット上に上げた内容は消そうと思っても簡単に消すことができません。
- ・相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることを絶対に書き込みません。

9 カメラでの撮影

- ・学校では先生が許可したとき以外でカメラは使いません。
- ・カメラで誰かを撮影するときは、勝手に撮らず、必ず撮影する相手の許可をもらいます。
- ・誰かを撮影した写真にいたずら書きをするなど、相手が傷つくようなことはしてはいけません。

10 データの保存

- ・学校のタブレットで作ったデータやインターネットから取り込んだデータ(写真や動画など)は、学習活動で先生が許可したものだけ保存します。

11 設定の変更

- ・先生や修理する人が使いにくくなるので、デスクトップのアイコンの並べ方や位置、背景の画像、色などのタブレットの設定は、勝手に変えません。
- ・文字が小さい、画面が明るすぎたり暗すぎたりなど見えにくい時は、先生に相談します。

12 不具合や故障そう丹

- ・学校でタブレット本体やインターネットが使えなくなって、再起動しても元に戻らないときは、すぐに先生に知らせます。
- ・家庭でこわれたり、なくしたりしたときはすぐに学校に知らせてください。(土日、祝日のぞく)
- ・正しい使い方をしていてタブレットが故障したときは、学校で修理します。間違った使い方をして故障させてしまったときは、どのように修理するかを学校とおうちの人と相談して決めます。